

# 私は、私の関わっているこの問題がうまく行っていると 確信している

Greatchain  
July 16, 2024

今朝のユーチューブ記事 (555 Your Angel isn't permitting you to avoid this Big Secret about you) からこれを書いている。これは私の背負い込んだ困難な問題を、心理的に推察し、あたかも医者か看護師のように、知的に分析して、私の知的興味から取るべき方向を示唆してくれている、貴重な忠告である。私は職業柄、いろんな書評や批評を読んでいるが、これほどの確で知的で、しかも思いやりに満ちた文章を読んだことはあまりない。これはその一つの例にすぎないが、これ一つを取っても、この人たちと共闘しようとしている私の方針が、間違いなく成功しつつあると確信できる。

「共闘」というのは、私をうまく利用しようとする人たちとの共闘でなく、良心的で建設的な人々との共闘である。確かに私だけでなく、一般の読者の方々も、何が本当で何がウソか、わからなくなっていると思われる。たとえば一例だが、「誰でも知っているが、あなただけが知らないでいること」を、教えてあげようという長い記事を読んでもみると、それは、守護天使の人々が集団で賭博をやっているという内容だった (と思う)。これは本当のことかもしれないが、私には信じられず、知りたくもないことである。この種の話が多すぎる。たとえば、私の息子の命が危ないというような警告は、私を動揺させ発狂させる手段としては有効であろうが、私はこれには動じなくなった。たとえそれが事実であるとしても、これは防ぎようがなく、宿命と諦めるより仕方がないからである。

ところで話題は変わるが、今、私について、また私の家で、何が起こっているかという、私しか知らない話をしようと思う。私は自分が私的なだけでなく、公的な立場に立っていることを、認めざるを得なくなっている。しかし実は、「神」というものがどういうものか、いよいよわからなくなってきた。これは神が信じられなくなったということではない。神との距離がこんなに近づいてもいいのかという疑問である。以下に述べることはすべて真実である。私がもしウソをつけば、すべてが台無しとなる。

先月6月21日の、夏至でかつ満月と言われた日に、ユーチューブで、神から「あなた」への希望として、この日にあなたの自宅を訪問するから、何時から何時まで玄関を開けておくように、という知らせがあった。私は迷った。なぜかと言えば、そんなことをすれば、

今まで妻に隠していたすべてを、一から話さなければならなくなるからである。これはかなり面倒である。しかし私は神の願いをなるべく聞き入れたいと思った。

幸い、この日は暑く、妻は指定された時間には、部屋を閉め切って冷房を入れていた（私は足の悪い高齢の妻との二人暮らし）。そこで神の来訪の時間を見計らって、密かに表玄関を開け、その日は蚊が多かったので、玄関の真ん中に蚊取り線香を置いた。音を立てないように、見つからないようにハラハラしながら、15分か20分待ったと思う。もちろん何も起こりはしない。もうそろそろ切り上げようと思った瞬間、特別大きな蚊が線香の煙をくぐって飛んできて、私のまさに手の甲に止まった。私はパチリと打ってこれを外へ放り出し、線香も消した。その瞬間に妻が大声で私を呼んだ。——これは本当のことである。皆さんはこれをどう解釈するか？

それからつい先日、7月14日、また不思議なことが起こった。私の家は2階にもトイレが設けてある。これは足の不自由な老妻のためでもある。この日も暑く、ちょうど夜明けの直前まで、2階の寝室の窓とトイレのドアを、筒抜けにして寝ていた。そして二人とも目を覚ましていた。すると、防犯カメラなどでいつでもわずかに明るい外の照明が、なぜか急に暗くなった。そのとき私が一心に考えていたのは、あの夏至の日のことだった。すると突然、2階のトイレの開け放った自動電灯がつき、15秒ほどして消えた。これは誰か人がトイレに入らない限り、絶対にありえないことである。私も妻もこれを目撃して驚いたが、「こんなことはよくあることだ」と私が言うと、妻は納得して寝てしまった。これは何だったのか？

私は前に「トイレ夫人」の話をしたことがある。あれは私がやはり2階のトイレで坐っているところを、外から「覗かれた」事件である。この時も私は全く驚くことなく、外へ出てから「今のはどなたですか？」と聞くと、返答が出ていた。(妻は下にいて全く知らない。)ではこれは同じ人物か？ 私にはそうは思えない。状況証拠からして、あれは「神」だったのではないかと思っている。

今私は、2階の4畳半の書斎でこれを書いているが、この時点では、この部屋ではほとんど何も物音がしない。これがどうかすると、大小いろんな音が天井から聞こえることがあって、これは、私を守護してくれているエンジェルだということがわかる。

実は私の、「あの有名な」quick and witty と評されるエンジェルへのラブレターは、ここで生まれたもので、私が手紙を英語で書いて、このパソコンのキーボードの上に置いておくと、やがてそれがユーチューブ上で、知れ渡っているらしいのである。(私は見たことがないが。)実は私が睡眠中に悪霊と渡り合った内容も、解説付きでユーチューブに出ている。

数日前のこと、私のメガネが「神隠し」に遭った。私のメガネの置き場所は決まっているから、別の場所へ置き忘れるはずがない。これは私の身体の一部を奪うという悪霊の仕業であろう。私は英語で大きくこう書いて、キーボードの上に置いといた。Anyone who took away my glasses from my desk, I'll give them to you. Only take care they don't work against you. 「それはくれてやるが、あなたに不利な作用をしないよう気を付けよ」という意味である。するとそれは3日後、下の和室の途方もない場所から出てきた。実はこれを書いたとき、すごく大きな音が2階でした。これはエンジェルが、私の取った行動を褒めていたのだと解釈している。私は現在、視力がますます悪化している。